

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
病理学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	星野 ちなみ※
授 業 概 要					
病理学では病気になったときの細胞、組織、臓器の形態的変化を理解する。病理学を形態的に学習する際に解剖学、生理学との関連、病理細胞検査学との関連を学ぶ。特に、臨床検査技師国家試験で重視される項目は重点を置いて理解する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査に必要な病理学的知識を身に付ける。 ・先天性異常、細胞傷害の機序と適応、物質代謝障害、循環障害、炎症、腫瘍について理解する。 ・各臓器に発生する疾患と、疾患による形態的変化を理解する。 					
実務経験のある教員					
星野ちなみ：病院での臨床経験を踏まえ、疾患の成り立ち、形態的変化について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
	<u>病理学総論</u>				星野 ちなみ※
1	病理学：意義、概要				
2	<u>先天性異常</u> 疾病とその分類、病因、奇形、染色体異常と先天性疾患				
3	<u>細胞傷害の機序と適応</u> 変性、壊死、萎縮、肥大、過形成、再生、化生、創傷治癒と肉芽組織				
4	<u>物質代謝異常</u> 糖質代謝異常、蛋白質・アミノ酸代謝異常、脂質代謝異常、 生体色素代謝異常、無機物代謝異常				
5	<u>循環障害</u> 虚血、充血、うっ血、出血、血栓症、塞栓症、梗塞、浮腫、傍側循環、 ショック				
6	<u>炎症</u> 炎症の原因、炎症の形態的経過と転帰、炎症の諸型				
7-8	<u>腫瘍</u> 定義、良性と悪性、異型性、組織学的分類、癌遺伝子と癌抑制遺伝子				
	<u>病理学各論</u>				
9	循環器系疾患				
10	呼吸器系疾患				
11	消化器系疾患				
12	内分泌系疾患、泌尿器系疾患				
13	生殖器系疾患、造血器系疾患				
14	神経系疾患、感覚器系疾患				
15	運動器系疾患、皮膚系疾患				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や配付資料により予習と復習をすると理解が深まる。 ・講義は教科書及び配付資料をもとに実施し、適宜、視聴覚教材を用いて講義する。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜試験を実施する。 ・遅刻や欠席等で月曜試験を受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。 ・再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕 臨床検査学講座 病理学／病理検査学 松原 修 他 医歯薬出版株式会社					